

令和5年度 学校経営方針

帯広市立広陽小学校

校長 野田 淳

I 学校教育目標（広陽の子ども）

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 1 ねばり強い子ども | ＜自主性に富み、自分に負けない根気強い子どもを育成する＞ |
| 2 考える子ども | ＜学力が身につく、創造性豊かな子どもを育成する＞ |
| 3 たすけあう子ども | ＜責任や連帯感を重んじて、協調性のある子どもを育成する＞ |
| 4 思いやりのある子ども | ＜情操豊かで心優しい子どもを育成する＞ |
| 5 たくましい子ども | ＜健康で安全な生活のできる子どもを育成する＞ |

II 今年度の重点目標（子ども像）

【エリア】「人とつながり、きらめく子ども～自らの可能性を見つけ、動く～」

【広陽小】「心と声と目線をそろえ、よく考え、よく動く広陽っ子！」

4つの観点 ～「あいさつ」「ありがとう」「やる気」「根気」～

昨年度は、3年ぶりの教育実践発表会へ向けて、研究部を中心に全教職員が日々の実践に真摯に取り組み、その成果が全国学力・学習状況調査の客観的データとしても証明され、「読むこと」「書くこと」の領域において数値的にも伸びを確認することができました。

今年度は、エリアならびに広陽小学校の重点目標の達成に向け、4つの観点「あいさつ」「ありがとう」「やる気」「根気」を重視しつつ、調査結果から見られる「自分と違う意見について考える」「課題に向け自分で考え自ら取り組む」「毎日同じ時間に就寝する」の改善に向けたカリキュラム・マネジメントを進めていきたいと考えています。

また、「アイ・メッセージ」によるアプローチを心掛け、児童との信頼関係を基盤とした学級経営と全教職員による「隙間のない生徒指導」で、学力・体力の向上を目指して参ります。

「教育は未来を創る営みである」ことを深く自覚し、「子どもにとって学びたい学校」、「教職員にとって働きたい学校」、「保護者・地域にとって通わせたい学校」づくりを進めます。

イメージする具体的な広陽っ子の姿

- ＜心＞（言語環境、姿勢、くつ）を整える → 先を見通し、時間を大切に使える子
- ＜声＞ 自分からあいさつができ、しっかり返事ができる → 朗らかで意欲的な子
- ＜目線＞ 話し手を見て、最後まで話が聞ける → 考える力と優しさを纏った子

重点教育目標達成のための4つの観点

- ＜あいさつ＞ 人とつながり、自分の居場所を実感できる学級・学校環境を作る
- ＜ありがとう＞ 感謝の心で視野を広げ、他者と関わり、自己有用感を育成する
- ＜やる気＞ 安心できる環境の中で、学力・体力向上に向け前向きに挑戦する
- ＜根気＞ その時その時の気分で終わらず、物事を成し遂げる力を養う

Ⅲ 今年度の課題と確認事項

- 1 学校力向上に関わる総合実践事業中核校としての取組
 - ・エリア内の共通理解を深め、西陵中学校・啓西小学校と系統だった学習規律・生活のきまりの定着（そろえる指導）を徹底する（中1ギャップの解消等に向けた取組）
 - ・啓西小学校と同じテーマで校内研究・研修を推進する
 - ・効果的な専科指導のノウハウの蓄積と情報発信【理科・英語科】
- 2 学習指導要領を基本とするカリキュラム・マネジメントの工夫
 - ・子どもたちが新しい時代を生き抜く資質・能力を確実に身に付けさせる
 - ・学年ごとに到達目標を設定し、学力・体力の向上を確実に進める
 - ・習熟度別授業（算数科4～6年の加配）による底辺層の底上げ
 - ・情報活用能力やプログラミング教育を継続し、遠隔授業のノウハウも共有する
- 3 学校全体としてのスピード感のある危機管理
 - ・コロナウイルス感染症対策（その場にあった対応ができる子どもの育成）
 - ・ウィズコロナにおける各種行事や児童会・クラブへの取組の工夫（元に戻していく）
 - ・保護者・地域への説明責任を自覚し、子どもの指導にかかわる教職員間における情報共有を重視した取組を継続する
 - ・公教育に携わる組織体、公務員として、法令遵守の徹底に努める
- 4 今年度の重点目標の達成へ向けた全教職員の意識の共有化を重視
 - ・「教」「育」のバランスを大切にして、児童の「やる気」と「根気」を育てる
 - ・挨拶や感謝の心の大切さなどを普段から丁寧に指導し、児童理解に努めながら、いじめに対する認識 100%達成や不登校の防止を図る
 - ・時間外勤務の短縮や働きがいのある学校を目指し、着実な働き方改革を一步進める（学年内における教科担任制など工夫・情報共有）
 - ・学校運営協議会（CS）のスムーズな運営・発展を目指す

Ⅳ めざす教師像（使命感に燃える教師）

- ◆児童理解に努め、一人ひとりを大切にする教師
- ◆研修に励み、わかる授業の創造に努める教師
- ◆豊かな発想で、新たな創造に喜びをもつ教師
- ◆仕事に責任をもち、協力し合う教師

- ① 子どものために教師の力量を高め、もっている力を惜しみなく出そう
- ② 子どもたちの良さや可能性を伸ばす目をもとう
- ③ 子どもの姿に着目し、子どもの声（つぶやき）に耳を傾けよう
- ④ 子どもの力を認め、さらに引き出し伸ばす教育技術を身につけよう
- ⑤ 子どもたちと共に歩む姿勢で指導にあたり、揺るぎない信頼を築こう

V 教育活動推進の重点

1 魅力ある学校づくり

■生徒・保護者・地域にとって安心感・信頼感のある学校づくりに努める

- (1)情報の共有化をめざす開かれた学校と目的を明確にした開かれた教育課程の創造
- (2)学校のニーズに応えてくれる学校支援ボランティアの積極活用と連携
- (3)地域や家庭と連携した学校力向上（そろえる広陽）への挑戦

2 教育課程

■学習指導要領の趣旨を踏まえ、学習者中心の教育課程の編成・実施に努める

- (1)学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成・実施・評価・改善
- (2)児童の状況を把握し、学校・地域の実態を生かす工夫
- (3)各教科・各領域ごとの関連や目標及び位置づけを明確にした管理と運営

3 学習指導

■個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、確かな学力の育成に努める

- (1)個に応じたきめ細かな指導による基礎基本の確実な習得
- (2)学ぶ喜びを実感できる指導方法の工夫や授業改善
- (3)放課後や長期休業中を活用した補習などの学力向上に向けた取組
- (4)家庭学習の習慣化と生活リズムの改善を図る指導の充実

4 道徳教育

■思いやりの心を育て、温かい人間関係を育む道徳教育の充実に努める

- (1)道徳科のねらい及び評価についての共通理解
- (2)道徳科授業実践の交流
- (3)道徳との関連を図った豊かな心を育む教育活動の充実

5 特別活動

■集団活動を通して、個性を伸ばし、自主的・実践的な態度を育てる

- (1)学級活動の工夫と望ましい人間関係の醸成
- (2)児童会活動の充実と自主的・主体的な態度の育成
- (3)豊かな体験活動を取り入れた学校行事の充実

6 生徒指導

■児童理解に努めるとともに、児童相互、児童と教師の深い信頼関係を築く

- (1)カウンセリングマインドに基づいた生徒指導の充実
- (2)規範意識の向上とその内面化を図る指導の工夫
- (3)家庭・地域と連携した指導の工夫

7 健康・安全指導

■健康・安全に関心をもち、進んで実践する態度の育成に努める

- (1)健康安全指導の全体構造に基づいた指導の充実
- (2)危機管理意識の高揚と交通安全指導の徹底
- (3)望ましい食習慣の形成と食に関する指導の充実

8 キャリア教育

■児童一人ひとりが将来や生き方を適切に考えることができる指導に努める

- (1)6年間を見通した指導計画と継続的な指導体制の確立
- (2)自己肯定感を高める効果的な指導の充実
- (3)正しい職業観や勤労観を育む生き方指導の充実

9 学年・学級経営

■学校教育目標や経営方針を具体化し、経営の充実に努める

- (1)ともに高め合い、ともに助け合う生活集団など、望ましい集団づくりの工夫
- (2)児童一人ひとりのよさを引き出し、伸ばす指導の工夫

10 校内研修

■指導力の向上を目指し、組織的・計画的な研修を推進する

- (1)新たな研究計画や研究内容等の策定と推進
- (2)「一授業一感動」を追究する授業改善
- (3)日々の実践を通しての積極的な授業公開
- (4)学校教育指導の実施や各種研究会等への積極的参加

11 特別支援教育

■児童個々の教育的ニーズに応じた支援体制の確立に努める

- (1)情報の共有化を図った校内支援体制の充実（支援⇄通常 支援⇄学校 支援⇄支援）
- (2)外部関係機関等との連携

12 学校評価

■自己評価と関連づけた外部評価を実施し、学校改善に努める

- (1)学校改善に資する評価項目の設定による学校評価の推進
- (2)参観日や学校だより・HPでの説明等、評価結果の積極的な公開
- (3)学校運営協議会への自己評価（教職員・保護者・児童）提示と委員による学校評価

13 事務

■教育効果の維持を重視した事務処理の迅速化と適正化に努める

- (1)事務処理の手順や経路の明確化
- (2)教育予算執行の適正処理と金銭の取扱いの厳正化
- (3)收受・発送文書や諸台帳の点検整備の徹底

14 教職員の健康管理・働き方改革

■教師自身が積極的に健康管理に努め、教育活動の充実に努める

- (1)自らの体調管理と早めの対処
- (2)ストレスコントロール・ストレスチェックの徹底
- (3)セルフマネジメントによる業務の効率化

VI 学校経営の基調

（経営の基調）

「子どもの姿そのもの」が教育の成果であり

「子どもの言葉そのもの」が学校への評価である

